

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限	
ファッションデザイン（演習）Ⅰ Fashion Design (Seminar)		1年	前期	水曜日 2時限・3時限	
単位数	授業の形態		授業の性格		
2単位	演習		選択（オムニバス授業、集中授業（神長））		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目					
ファッションフィールド科目					
同時に履修しておくことが望まれる科目					
ファッションデザイン演習・Ⅱ・Ⅲ					
担当者に関する情報					
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
阿部芳子・神長 学		福祉棟 3F	月・水曜 12:30～16:00 （授業時間を除く）	授業中に指示します	
授業の概要					
ファッション商品デザインについて、テーマ別に理解する。機能・デザイン目的などを学ぶ。さらに人々に求められるデザインや、流行、演出なども理解し、今日の多様なファッションデザインを理解する。					
授業の到達目標					
ファッションデザインの基礎の形や素材感、色等を学び、ファッションデザインとイメージ別デザインが理解される。新しい価値を創造するデザインや企業が利益を生み出すデザインイメージが運動されて考えられるようにする。					
授業の方法					
実習を中心に進めるが雑誌・資料・実技指導等で技術や表現方法を会得する。個人作品を中心に行う。シラバスを一部変更することがある。					
学習の成果					
イメージから具体的な作品作りの技術表現ができるようになる。作品の完成後は発表や展示をすることで、他の学生との差異を知りさらに、知識と技術向へと応用発展できる能力を身につけることができる。					
授業のスケジュールと内容					
第1回目	一枚の布からの多様な表現		簡単技法で人体にファッション表現（ドレーピング）		阿部1～5
第2回目	素材を理解しながら作品製作				
第3回目	人体と布・衣服との関係		ゆとり		
第4回目	平面構成によるデザイン表現				
第5回目	立体表現によるデザイン表現				
第6回目	パターンの基礎		神長6～15		

第7回目	立体裁断	基礎	
第8回目	立体裁断	基礎	原型
第9回目	立体裁断	シャツ	
第10回目	立体裁断	スカート	
第11回目	ダーツ・ギャザーなどの技術を使用してデザイン応用		
第12回目	作品製作	①	個人作品
第13回目	作品製作	②	個人作品
第14回目	作品製作	③	個人作品 個別指導
第15回目	作品提出	検討・批評	着装発表
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度	30%	積極的に授業参加し、実習の進捗や内容表現が的確であるか。	
レポート	0%		
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容（態度含む）	70%	作品の完成度、発表態度など、積極的に取り組むことができたか、総合的に評価。	
その他			
教科書と参考図書			
服飾デザイン（基礎）（文化服装学院）、モードエモード、スタイルブック、ファッション専門誌（各種）			
履修上の心得・ルール			
個人作品制作のために費用は個人負担。一部共有使用は集金する。（金額は授業時に相談する）			